

第2回の委員会(H24.12.12)から

早急に取り組むべき防災対策について

◆平成25年度当初予算に盛り込み、早急に対策を講じるべき事項については次の3点

1. 安定ヨウ素剤の備蓄
2. 放射線測定機器の整備
3. 市民等への原子力防災学習会の開催

※別紙により平成25年度当初予算要求

原子力防災計画の策定にむけて

- ◆国・県の原子力防災対策のスケジュールを示してほしい。
- ◆市の防災対策の検討に向けて、委員と行政職員とで構成された部会で具体的な検討を行う。

篠山市における早急に取り組むべき原子力防災のための対策案

篠山市原子力災害対策検討委員会において、早急に取り組むべきとして提案いただいた対策案について、行政内部で検討した結果、下記の通り取りまとめましたので報告します。

1.安定ヨウ素剤の備蓄

【目的】

災害時に事前に服用することにより、体内での放射性ヨウ素の蓄積を防ぐことができるため、事前に備蓄しておく。

【概要】

安定ヨウ素剤の備蓄方法、配布方法、服用対象者、服用の量については、平成25年3月までに基準を示すために国の原子力規制委員会で議論されている。

本市としては、安定ヨウ素剤の備蓄等に関する国の基準の策定を待ったほうがよいと判断する。

2.放射線測定機器の整備

【目的】

平時から放射線量を把握（HPにおいて公表）しておき、災害時の数値と比較することにより、避難の判断に使う（避難基準は、国の原子力規制委員会で平成25年3月をめどに検討中。）。

【概要】

本庁、各支所に簡易型放射線量測定器を設置しておき、平時には毎月一回測定を行い、値を公表（HPにおいて公表）する。また、より安定した測定値を求める場合のために通常型の測定器を整備する。

【経費】

放射線量測定器 1基 600,000円

(シンチレーション式測定器)

簡易型放射線量測定器 8基 480,000円

(ガイガーカウンター式測定器)

※本庁、各支所、大芋地区公共施設、西紀北地区公共施設に配置

3.市民等への原子力防災学習会の開催

【目的】

市民に原子力の正しい知識を伝えるとともに、原子力防災体制を市民等知ってもらうための学習会を開催する。

【概要】

市民向けの原子力防災学習会を行う。内容は、原子力の正しい基礎知識、原子力の防災の心構え、篠山市の原子力防災について、講演を行う。

○（仮称）原子力防災市民フォーラム（案）

〔原子力災害対策検討委員会主催〕

原子力防災に対する関心を高め、多くの市民に原子力防災を自分のこととして考えてもらえる場とする。

- ・基調講演
- ・市の取り組み
- ・パネルディスカッション

○（仮称）「原子力災害に備えて」地域巡回防災学習会（案）

〔原子力災害対策検討委員会主催〕

市内3か所で、原子力の基礎知識、原子力の防災学習をより多くの方に学習してもらい、原子力に関する質問等に答えることにより原子力に対する関心を高め、多くの市民に原子力防災を自分のこととして考えてもらう場とする。

- ・原子力の基礎知識の学習
- ・原子力防災等に関する意見交換

【経費】

○（仮称）原子力防災市民フォーラム（案）

講師等謝金、資料印刷代金、案内チラシ印刷代金など 166,000円

○（仮称）「原子力災害に備えて」地域巡回防災学習会（案）

情報提供者謝金、資料印刷代金、案内チラシ印刷代金など 314,000円